

特定非営利活動法人 イマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



イマジン通信

Vol.41



いよいよ、動き出します！

平成22年度もアッという間に終わろうとしています。ありがたいことに忙しさだけは変わらず、毎日たくさんの障害当事者とそのご家族に支援をさせていただいています。

年度末を迎え、学生の方で卒業を迎える方もいらして感慨深いものがあります。新春から社会人になる方、通所の施設に通うようになる方、上の学年に変わる方など…それぞれに新しい生活が始まります。それに伴って新しい支援が必要となる方もいます。イマジンも支援内容の変更に伴って人員配置等の見直しに入ります。毎年のことですが地域支援をしている宿命を感じます(笑)

さて、来年度はいよいよ障害者自立支援法に動きがあります。特筆する話題としては、「グループホーム・ケアホームの家賃に利用者1人当たり月額10,000円を上限として助成」が平成23年10月施工されます。地域移行を推進するためにも必要な助成です。障害基礎年金のみにて生活している方には大変ありがたく、今後のケアホーム生活を考えている方にも大きな影響を与えたいと思います。また、ヘルパー事業には、重度視覚障害者に対する移動支援として「同行援護」というサービスが創設されます。詳細は、今後検討後に公布されますが、現在イマジンの利用者の中にも該当される方がいらっしゃるの、事業所申請をしてサービスを提供できる事業所となるかを検討していくことになりそうです。そして、消費者物価指数が0.4%マイナスとなったことから、特別児童扶養手当や特別障害者手当、障害児福祉手当、障害基礎年金等も0.4%引き下げとなり、全て数百円単位の減額になります。金額からすると大きな影響が無いようにも感じられますが、障害基礎年金がこのようにして算定されていることを知らされます。永遠に定額でもなく、簡単にも増額されるものではないことを改めて認識します。

法律だけでなく、様々な状況が変わってくるのが想定されます。ひとりの人が一生を全うする長い年月の間に、このような変化の中で地域生活を送る…様々な支援が無くては続けていくことも難しいと痛感します。やはり、ここで必要性が求められてくるのが“相談支援”だと思えます。生活をするのに困難な状況は人それぞれだと思えます。全ての人々が豊かな財産を持ち、法律や制度を熟知し、家族を始めとする周囲の理解や協力を受けて生活しているわけではありません。本人ですら“どうすればいいのか”“どうすることが正しいのか”が分からず、不安や迷いを抱えています。家族だからと言って“全てが分かっている”“全てに対応できる”訳ではないのです。また、行政職員、教員、施設職員等も同様に“全てを知っている”“全てに対応できる”人などいません。今まで以上に、障害当事者その人の今を受け止め、将来をみんなで考えることが必要になってきます。一部の人で抱えずに周囲のみんなで支える。正に“支援”の在り方が重要になってきます。“公平・中立”の立場に立つ相談支援こそが障害当事者の立場に立って支援を組み立てていくことができます。相談支援もまた、平成24年4月を目指して大きく変わることが決まりました。平成23年度は、相談支援にとっても今後を計る重要な時になります。相談支援の充実が地域サービスを成熟させ、障害の理解を深め、地域を住みやすい環境に変えていく原動力になると思います。そのための仕組みとして“自立支援協議会”が各市町によって立ち上げられていますが、始まったばかりの協議会で形ばかりの部分もありますが、今後の地域生活を考える重要な位置づけになっていますので皆さんもお住まいの市町において関心を持っていただきたいと思います。この自立支援協議会も市町単位では支援を考えられない現状から“広域型の自立支援協議会”が求められ、実際に平成23年度には志太榛原圏域をモデルとして、県行政と志太榛原圏域の相談支援事業所を中心とした“圏域自立支援協議会”が動き出します。支援の基本は本人から！その本人に必要な支援を考えます。本人のことは今まで同様にケース会議、必要な支援はケア会議で、地域のことは自立支援協議会で話し合い、より良い地域にしていきます。全ては生活の仕方・在り方が基準となって進んでいきます。障害当事者とその家族の声が地域を作っていきます。

イマジンは、そんな方々の声に導かれて支援を続けて参りました。現在は、各事業の充実化と対応者の教育、業務の見直しに力を入れています。加えて、ケアホームの新規建設を進めています。障害当事者の声がいつでも聞くことのできる法人になるよう、日々考え、実践させていただいています。サービス事業所としても当たり前のことですが、イマジンの全てで相談支援を実践していきます。(理事長 澤島)



“ついつい雨やどり”の生活 ⑬

今回はついつい雨やどりで起こったあるケースから、GH・CHでの生活支援って何だろう…と考えてみたいと思います。

ある日、入居者のAさんが日中活動先で『CHで虐待を受けているのでは無いか』と問題になりました。顔に痣ができ、聞かれた本人が「職員に叩かれた」と答えたのです。しかし、実際はある出来事が関係していました。ある日の休日、Aさんがこだわりとして心から楽しんでいた事が自分の意図しない所で突然終わってしまいました。様々な思いから落ち着かなくなり、物を投げる、友達を叩くなどの行動に出ました。叩かれた仲間たちは叩き返し、それで更に興奮し、また叩き…。また叩かれ…。簡単に言えば兄弟喧嘩でした。そして、スタッフは違う場所で他の方の対応をしていたため、それを止めるのが遅くなってしまったのです。このケースの中には、事前に対応すべき事、後から対応すべき事がいくつもあります。「本人が夢中になる事が分かっている終わりを伝えていなかった」「終わった直後に本人と次の展開の話をしなかった」「スタッフが不安定になった本人に対応した後にもう大丈夫だと思い、その場を離れてしまった」「離れた後、喧嘩になっているのに気付かなかった」「起こった出来事を日中活動先にしっかりと引き継ぎしなかった」などなど…。他にも、状況を見て予測し、対応できた事があったと思います。支援者の数が限られている中で集団への支援を行う場合、常に全ての人を見ている事はできません。しかし、全体の状況を把握し、常に注意を向けていなければいけません。誰が何処に居て、何をしていた、どんな状況にあるのか…。かと言って監視員ではなく、入居者の皆さんそれぞれの生活を支える支援者でなければならない。それは、スタッフの考え方やちょっとした気配りで変わってくるのだと思います。様々な可能性を考え、予測し、配慮する。スタッフ自身がどう思うかではなく、その方がどう思い、感じ、どうしたいのか？を考える。物理的に常に見ている事はできなくても、そんな意識を持つ事で、その方自身のことも、全体のことも理解し把握できるのではないかと考えています。

支援者は一歩間違えれば監視員にもなり、生活の管理者にもなり得ます。毎日支援をしていると、生活が流れ作業になり、支援者主導の生活になってしまう事があります。そして支援をしている中では、こちらでルールを定めたり、本人の希望を制止しなければならない事も出てきます。しかし、『支援者がいいと思った』『支援者に都合がいい』それが支援を考える基準になっていないか？本人にとって本当に必要なのか？常に思い返しながらか支援をしなければいけないと改めて考えました。GH・CHは入居者の皆さんの『自宅』であり、支援者はその生活行為・気持ちを支援させていただいています。制度上、GH・CHも個別支援計画を作成しそれに基づいた支援を行うことが義務づけられていますが、支援は書類で行われるものではありません。その方の望む生活をイメージし、考え、配慮し、入居者の皆さんがその方らしい生活を送れる様、日々の生活を支援していきたいと思います。(担当 北川)



GH・CH新規建設説明会を開催しました

平成23年度、ついつい雨やどりに続くGH・CHを建設するにあたり、島田市(旧島田地区・金谷地区・初倉地区)・藤枝市・焼津市・牧之原市にて『グループホーム・ケアホーム新規建設説明会』を開催しました。「約5年以内にGH・CHの利用希望がある方」と対象を限定させていただきましたが、延べ53名の方にご参加いただき、改めてGH・CHの関心の深さと必要性を実感しました。説明会ではGH・CHの利用概要の他、施設の概要や今後開設する『グループホーム・ケアホーム建設基金』についての説明を行いました。質疑応答では、参加者の皆さんから入居後の日中活動についてや金銭面、休日の支援体制、生活の組み立ての仕方などの質問が出されました。また、入居のタイミングをどう決めたら良いのか分からない、親である自分が踏み切れない…などなど、ご家族の思いもたくさん聞くことができました。説明会の最後には『イマジンGH・CH入居希望票』をしていただき入居の希望時期を伺いましたが、イマジンのGH・CH建設計画を早めてく必要性を感じる結果となっています。今後、障害を持った方の生活の場として、益々必要性が高まっていくのではないのでしょうか。今回の新規建設するGH・CHは、5月末まで入居者の募集を行い、8月までに入居者が決定する予定です。入居希望がある方は、イマジンまでご連絡下さい。また、来年度も「GH・CHってどんな所？」と言った方に向けた学習会の開催を予定しています。お父さん、ご兄弟、関心のある方は、是非ご参加下さい♪(担当 北川)





2月のデイサービス（クッキングデイ）

2/13(日)に近くに迫ったバレンタインデーにちなんでお菓子作り♪のクッキングデイを行ないました。“バレンタインの主役の女の子”に限定した小人数でのデイサービスです。

初めて会う仲間に挨拶をした後、スーパーに出発。1つ1つみんなで吟味して材料を決めていきます。買物が済めば、調理会場のしまだ楽習センターへ買物袋を持って移動。みんな自然と足取りも軽く♪やっぱり女の子ですね。いよいよお菓子作りです。今回はカップチョコと、市販のパイ生地を型を抜くだけのパイをつくりました。もちろん出来ることは人それぞれ、みんなで力を合わせて工程を分担して作っていきます。出来ることは違って、注いだ“愛”はみんな同じです。だんだん形が出来てくると、真剣だった表情もだんだん和らぎ「チョココレイト♪チョココレイト♪」とCMで聞いたことのある歌も聞こえてきます。ラッピングの袋も各自で選んでもらい、出来上がったお菓子を丁寧に詰める表情は本当にみんな女の子の顔でした。



普段、なかなか女の子だけで集まり、女性らしいことをする機会はなかなか無いかもしれませんが、今回は素敵な時間を過ごしてもらえたと思います☆みんな誰に渡したのかなぁ〜♪（担当 古木）



ヘルパー活動からいただくもの

日頃より、イマジンヘルパーをご利用いただきましてありがとうございます。また、ヘルパー活動を暖かく見守り、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

現在でも、知的障害者(児)の方から多くの支援の要望が届き利用者数が増えています。同様に身体障害者(児)で車いす生活の方や視覚障害の方、精神障害者の方にもご利用をいただいています。

私達はヘルパーという仕事を通じ、多くの出会いをいただきます。

精神障害者の方で日常生活に支援をさせていただいている男性がいらっしゃいます。出来ないことがたくさんあります。支援をする中で「分かりました」「こうすればいいんですね」「〇〇ならできます」とのお話になることがあります。結果、周りの人と話したこと、約束したことが「うそ」になってしまうこともあります。出来るかは分からない…でも“出来ない”と言えない。出来るようになりたい…出来るようになった自分がイメージできない。そんな経験あったかなぁ…。どうしていいのかわからない。何をすれば正解なのか?誰にとっての正解なのか?折れそうな気持ちが誰にでもあります。でも私は、彼との関わりの中で、いつも温かな気持ちをいただきます。精一杯、本人なりに生活している姿に心が動かされます。社会にはたくさんのルールがあり、多くの方に共通した価値観があります。しかし、障害があるが故に…病気が治らないが故に…生活しづらい人がいます。障害があることが生活のしづらさを生みだしています。その人がダメな人なのでも悪いことなのでも無いと思います。

私達は「人の心に寄り添う支援」を目指します。障害の種別が身体・知的・精神と違って、年齢が違って、この支援の姿勢は変わりません。それは、私たち自身が支援を通して感じる“障害があっても無くてもみんな同じ”という実感があるからです。障害者支援の経験が有る無しに関わらず、多くのヘルパー達から、また、世話人達から聞かれる言葉です。イマジンの支援は「心を預ける温かさ」を感じさせてくれるものなのかも知れません。私たちは多くの利用者様から多くの機会を得て、この温かさをいただいています。日々の支援の中で、それぞれの気持ち・思いに触れながら、私達も時に悩み、立ち止まる事があります。そんな時、笑顔になれる何かを…立ち上がろうとする勇気を…歩き出そうとする元気を…そして、何らかの答えをくれるのは、やはり“ご本人様”です。ヘルパーとして、支援者として、寄り添わせていただきながら、ご本人様と同じその先を見ていきたいと願います。ヘルパーも、全員が同じことが出来るわけではありませんが、この気持ちと姿勢は全員で持ち支援をさせていただきます。（担当 中野）



平成23年度の会員 大募集！！

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても下記口座まで振り込まれても結構です。また、イマジンのサービスを利用されている方は年会費の引き落としも可能ですので、お申し付けください。

来年度もイマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

【年会費】

正会員 5,000円 ・ 賛助会員(個人) 1,000円 ・ 賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771

特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通

◆平成22年度の会員になっていただきありがとうございます。

正会員 ☆ 岩崎 寧子 様 ☆ 大石 よしの 様 ☆ 高木 幸有 様



新しい職員紹介



今年の1月中頃よりイマジンで働き始めました杉井克也と申します。前職は営業職をしており、介護職はほとんど未経験ですが周りの多くの方々に支えられ、毎日が勉強の日々です。これからも一生懸命に支援させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

お知らせ

◆◆平成23年度イマジン総会のお知らせ◆◆

平成23年度イマジン総会を下記の日時に開催します。平成22年度の報告、23年度の計画を始めとして、今後のグループホーム・ケアホーム等の建設計画に関するお話もします。例年同様に、皆さんとお話しする時間を持ちたいと思いますので、ご多用のこととは存じますが、ご都合をつけてご出席のほどよろしくお願い致します。

また、イマジンの活動に関心のある方が近隣にいらっしゃいましたら、お声かけの上、お気軽にご出席ください。重ねてお願い致します。

日 時 平成23年 5月14日(土) 会場 午後5時30分 開演 午後6時00分
場 所 島田第一中学校 地域交流室

- ◎ 場所の分からない方、地図を用意しています。お気軽にお申し付けください。
- ◎ 当日は別室を用意しておりますので、お気軽にお子様をお連れ下さい。その際には、お手数ですが連絡をお願いします。
- ◎ 年会費の受付も行ないますのでよろしくお願い致します。



【連絡先】 特定非営利活動法人 イマジン

障害者支援センターイマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20

TEL 0547-34-3370 FAX 0547-34-3371

e-mail imagine@za.tnc.ne.jp

URL <http://www3.tokai.or.jp/Imagine/>

初倉事務所 (つつい雨やどり隣)

〒427-0113 静岡県島田市湯田1-1

TEL / FAX 0547-30-4117

e-mail npo-imagine@cy.tnc.ne.jp